

江南市水道事業経営戦略について

2

経営戦略とは①

- ✓ 「経営戦略」は、各公営企業が、**将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画**
- ✓ 総務省は「公営企業の経営に当たっての留意事項について」にもとづいて、**「経営戦略」の策定を地方公共団体に要請**

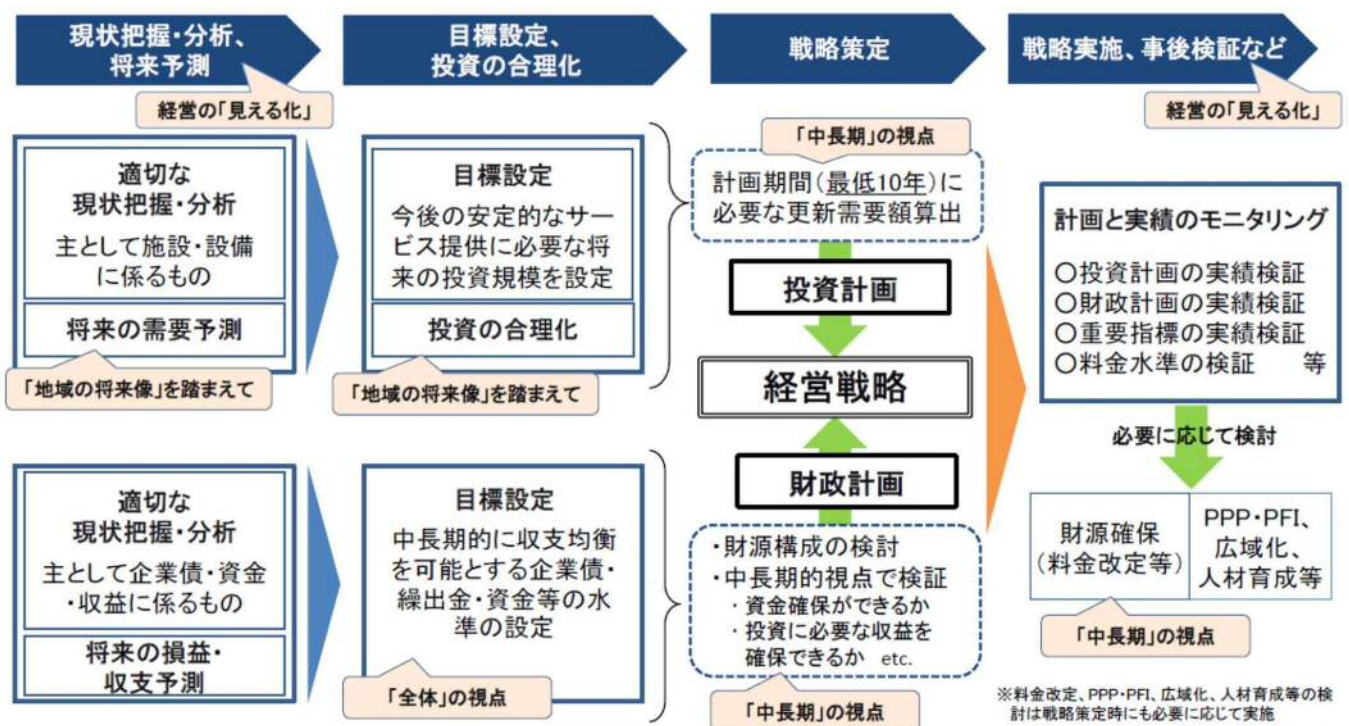
3

経営戦略とは②

- ✓ 「経営戦略」は、投資の見通しを試算した計画と財源の見通しを試算した計画が構成要素となる「投資・財政計画」を中心とし、投資以外の経費も含めたうえで、収入と支出が均衡するように調整した中長期の収支計画
- ✓ 「経営戦略」には、組織効率化・人材育成や広域化、PPP/PFI等の効率化・経営健全化の取り組みについても検討を行い、取り組み方針を記載

4

経営戦略策定の流れ



公営企業会計について

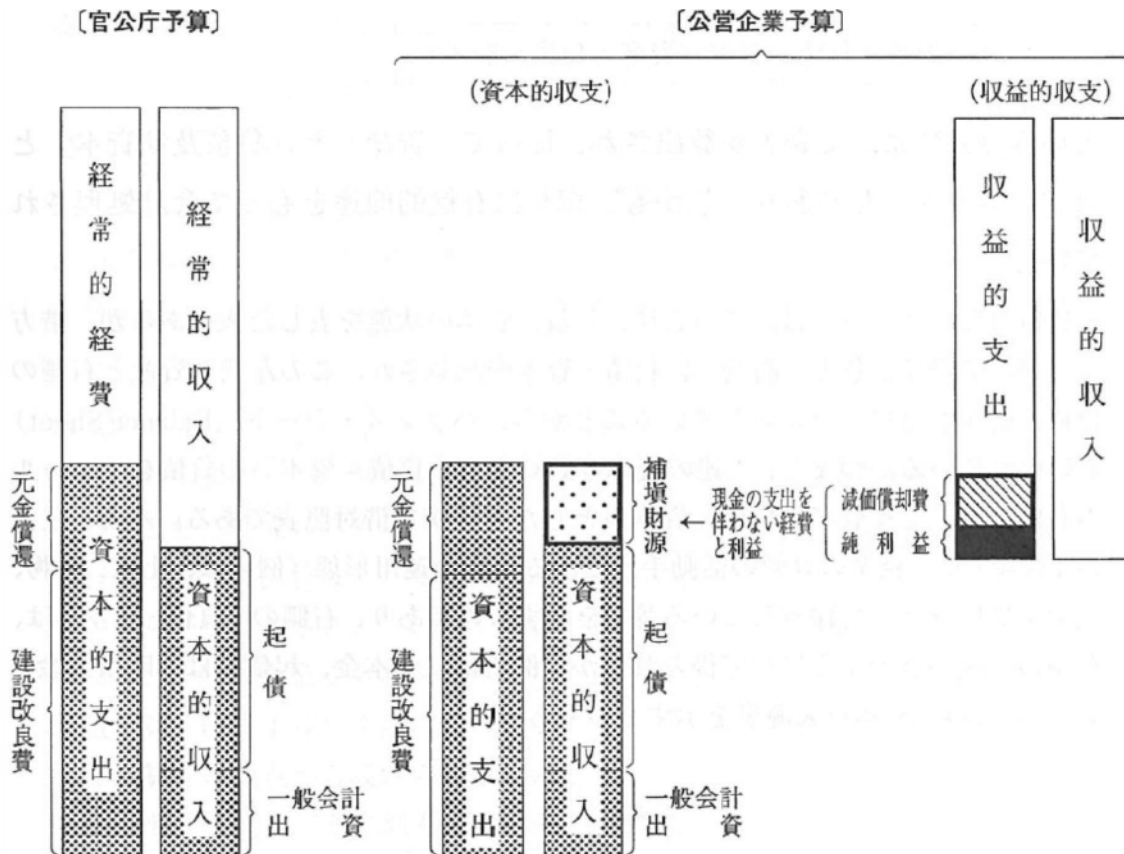
6

公営企業会計の特徴①

- ✓ 水道事業は地方公営企業であり、地方公営企業法に示された地方公営企業会計制度にもとづく
 - **独立採算制（受益者負担の原則）**
 - つまり、料金収入で運営（税金で賄われない）
- ✓ 官公庁会計方式とは異なる
 - 官公庁会計：現金主義会計、単式簿記
 - 公営企業会計：**発生主義会計、複式簿記**
 - （貸借対照表、損益計算書）**

7

収益的収支（営業活動関係）と資本的収支（資本関係）の2本建



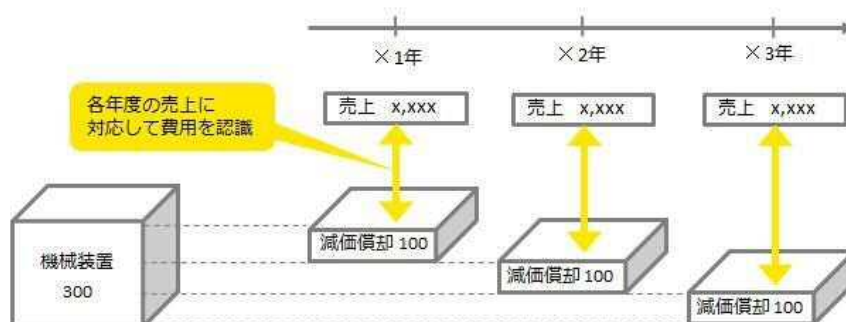
※公営企業の経理の手引きより 8

公営企業会計の特徴②

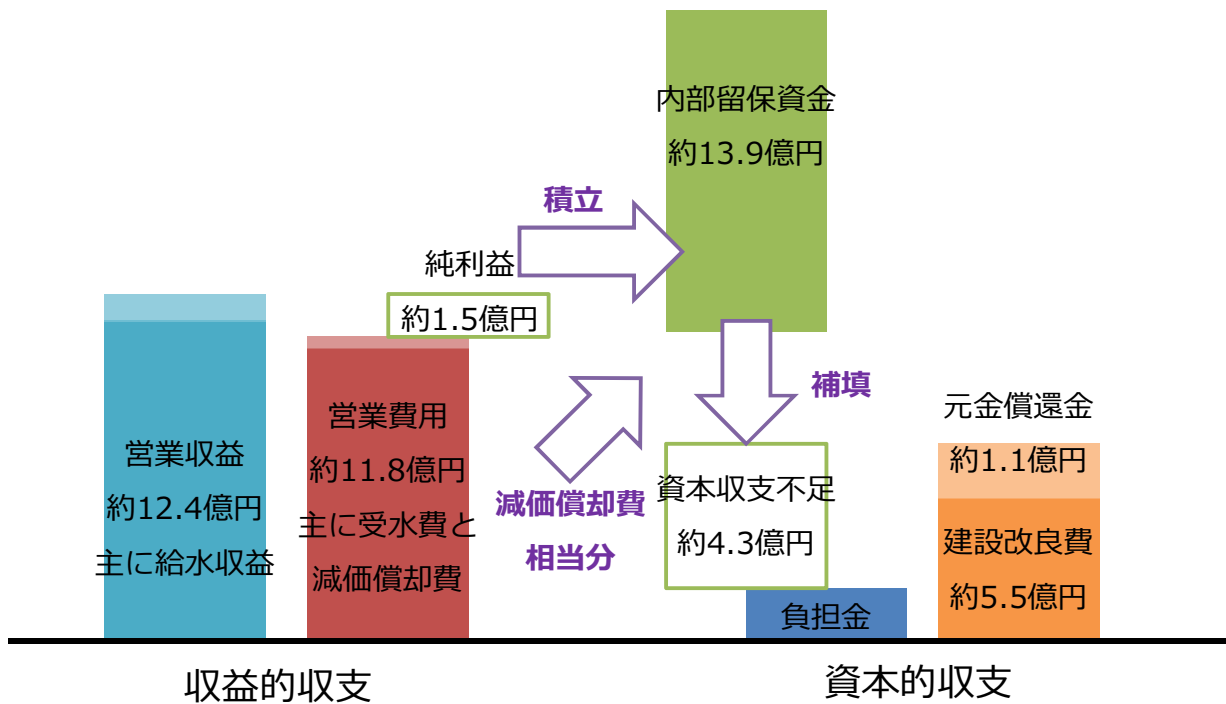
✓ 減価償却の概念

発生主義：ある年の収益の獲得に役立った分だけ費用として発生（300万円の資産を3年間使うとすれば、年間100万円が費用）

※現金主義では、全額が取得年度の費用

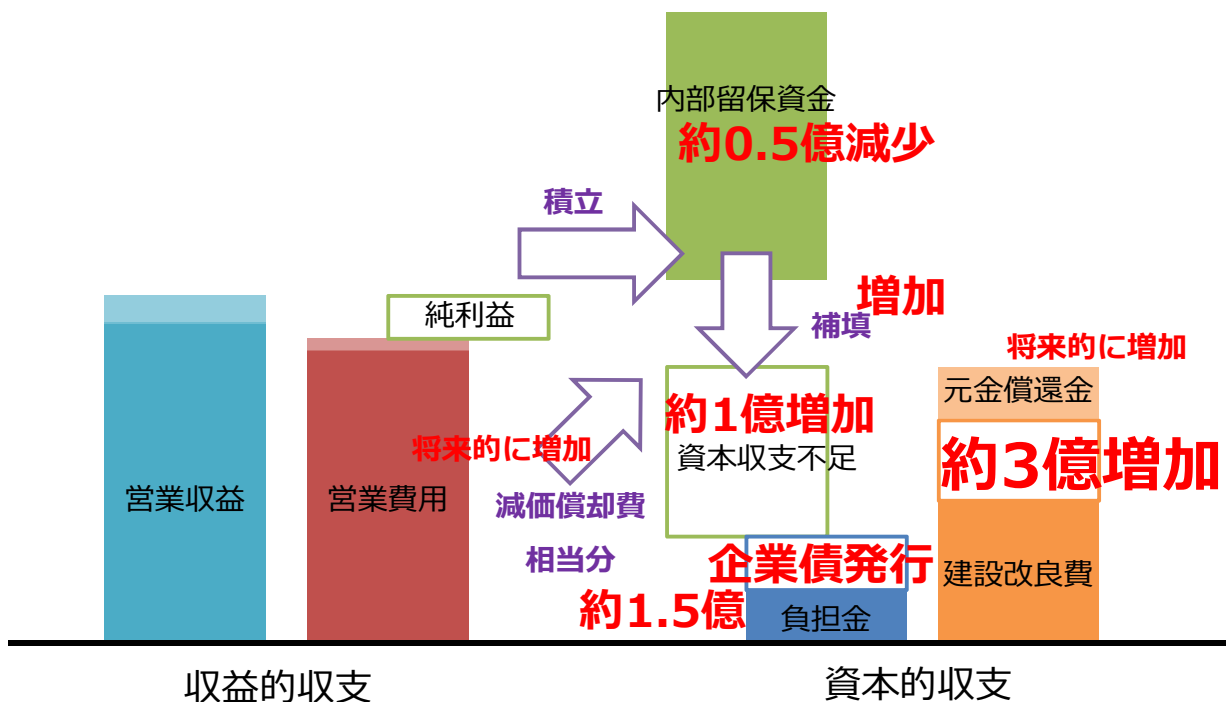


平成28年度決算の解説



10

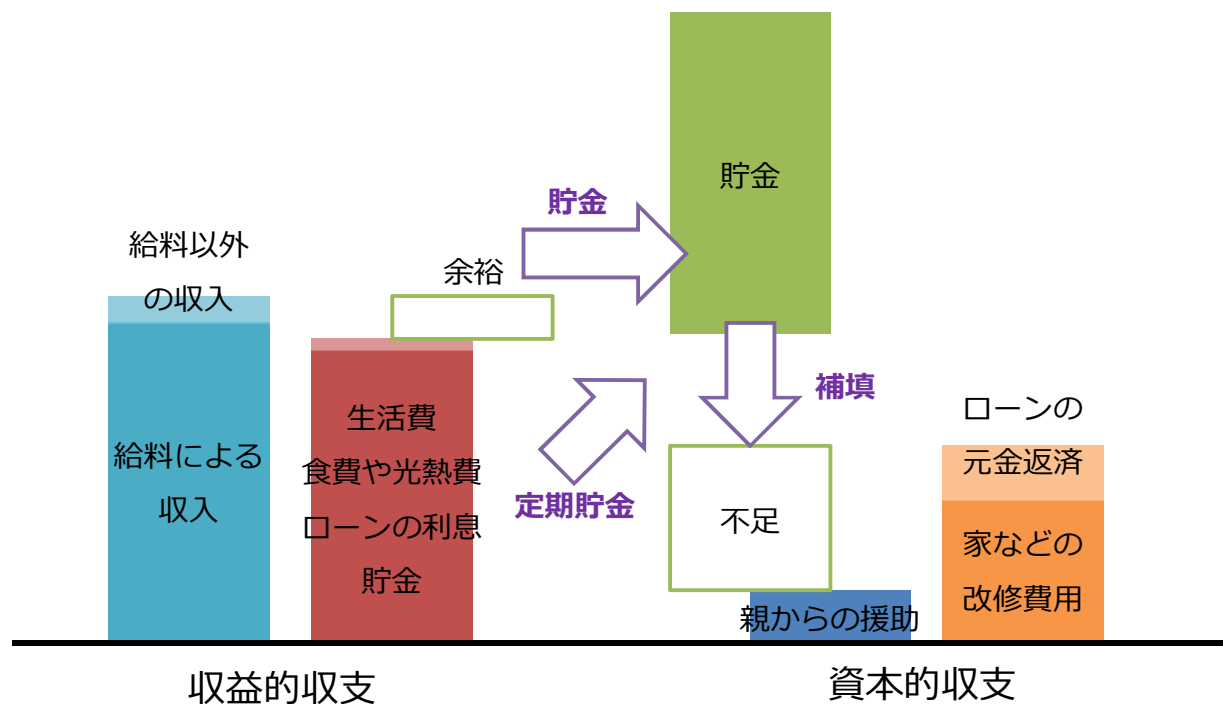
【参考 平成29年度決算の見通し】



※平成29年度は決算見込値で、以降の図表等も同様です。

11

たとえば一般家庭に置き換えると

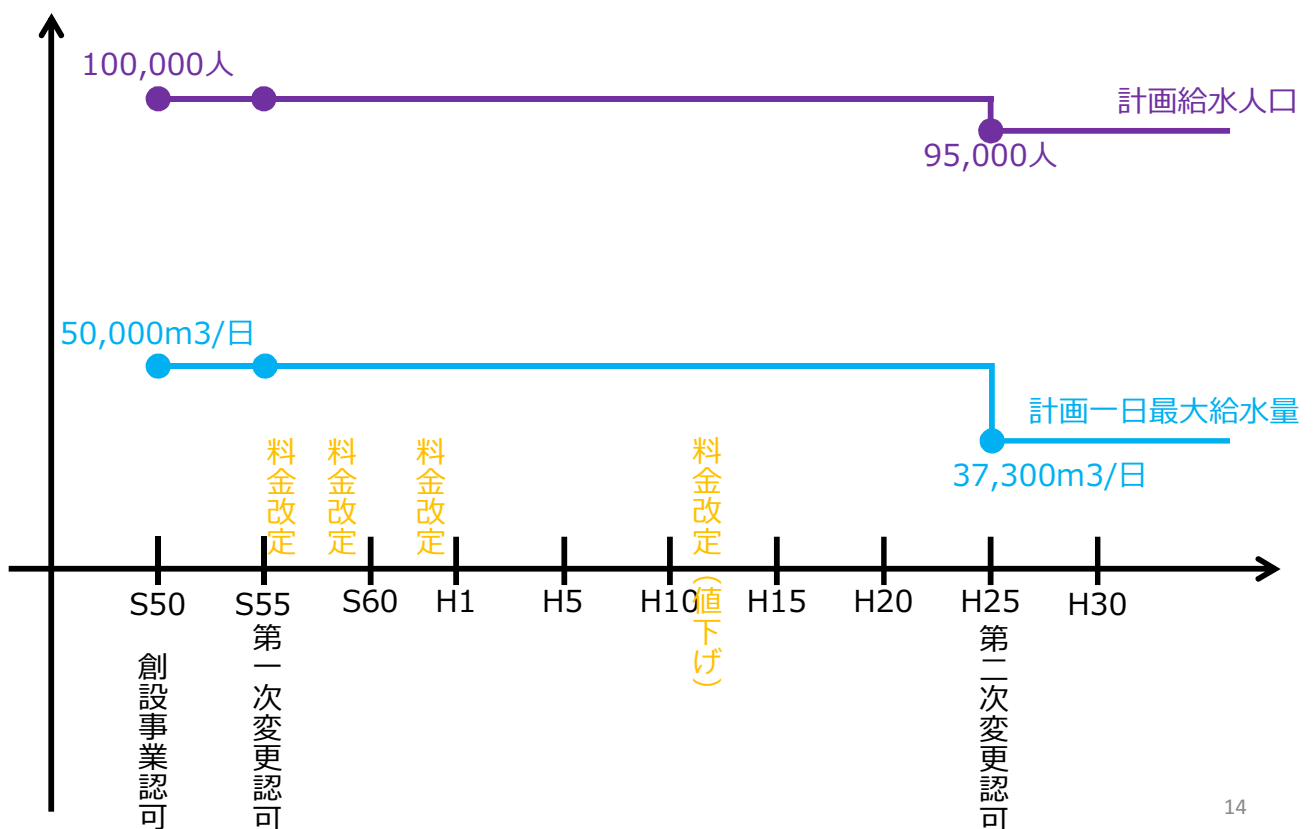


※厳密には異なります。イメージです。

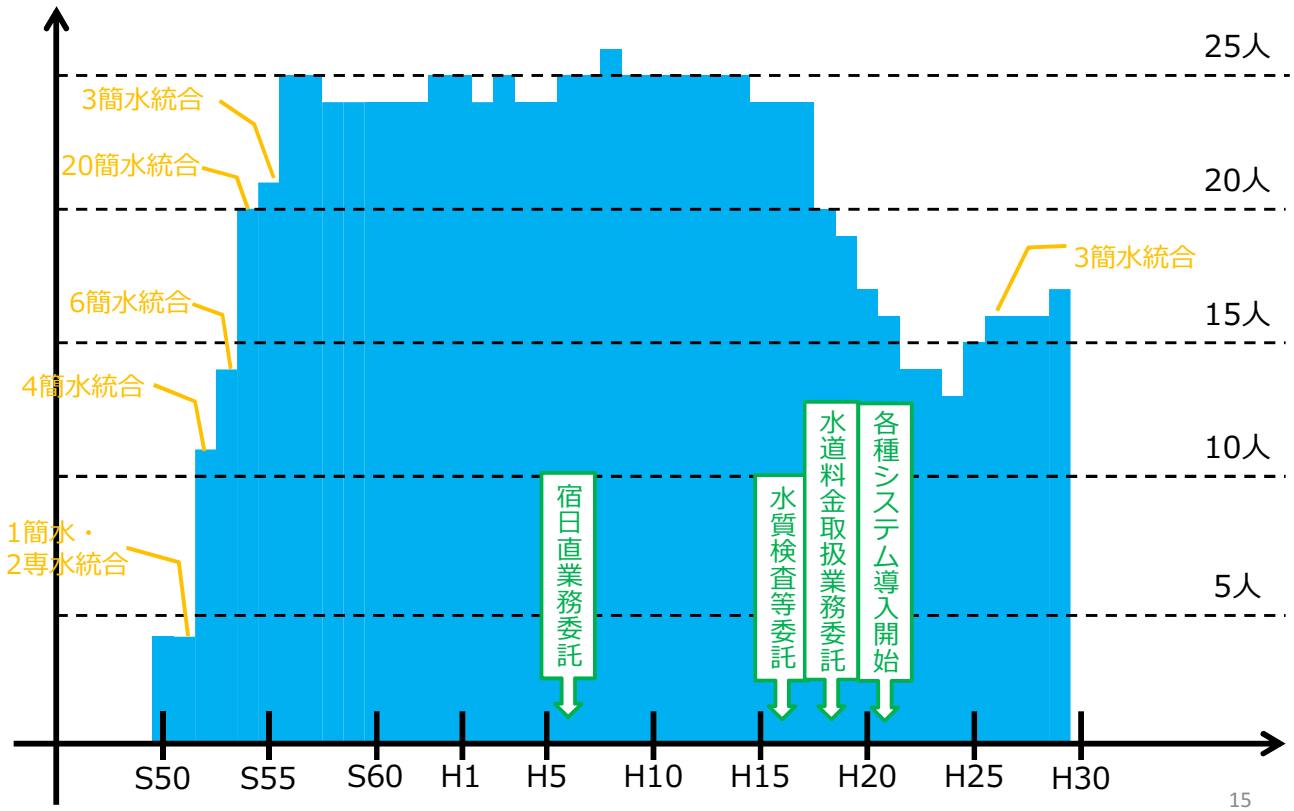
江南市水道事業の概況

13

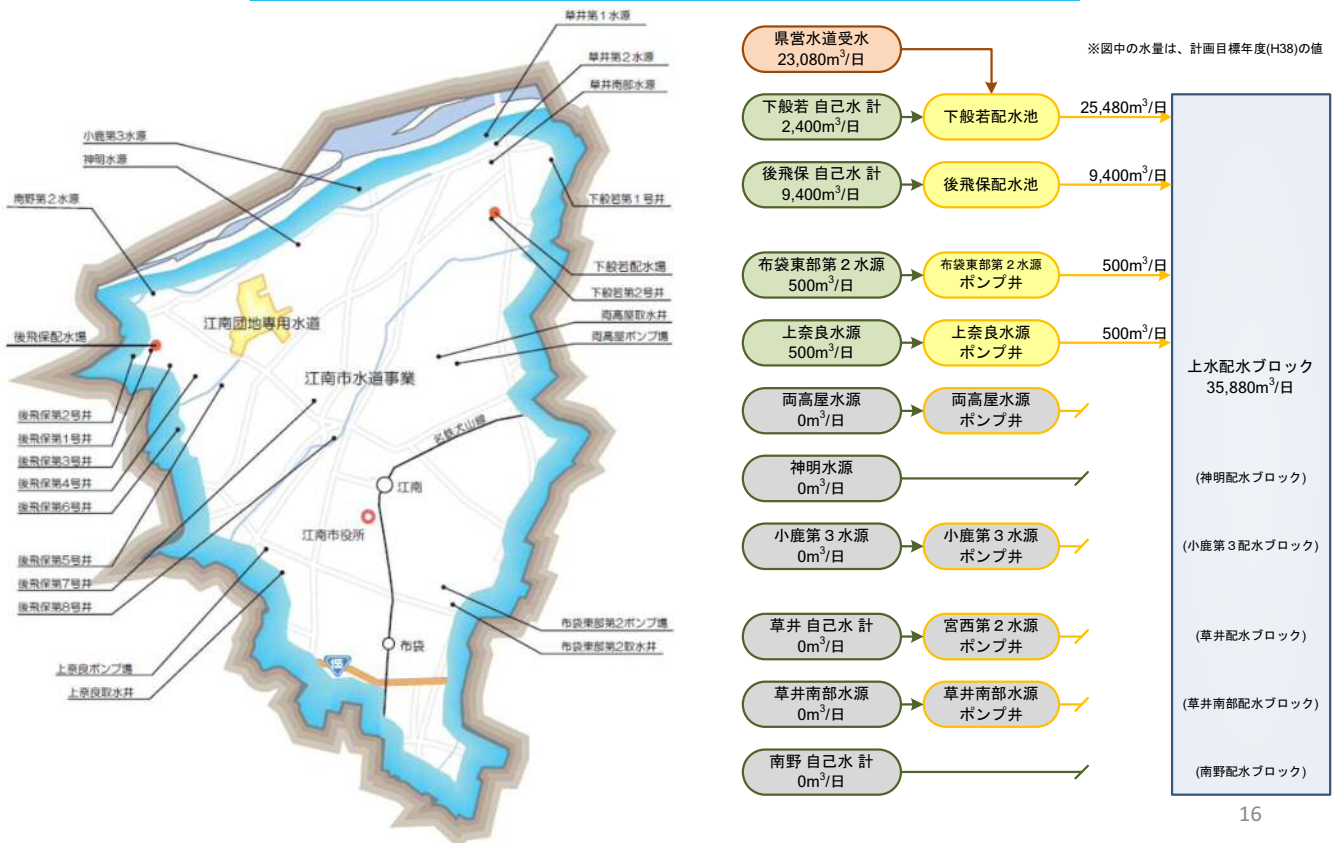
水道事業の沿革



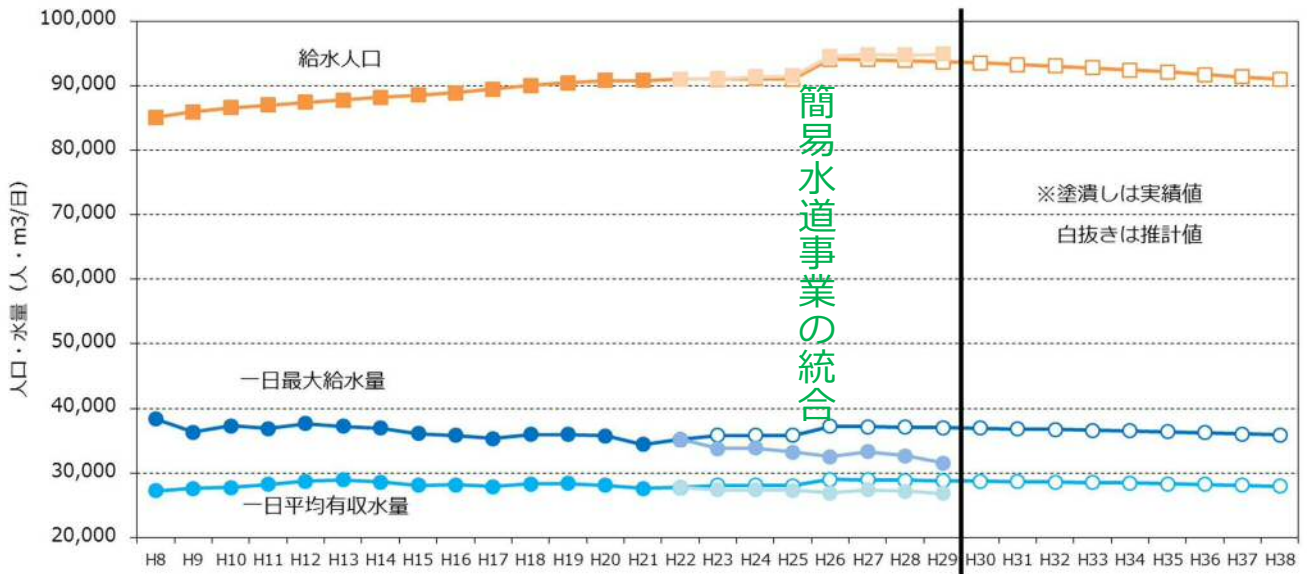
14



江南市の水道システム

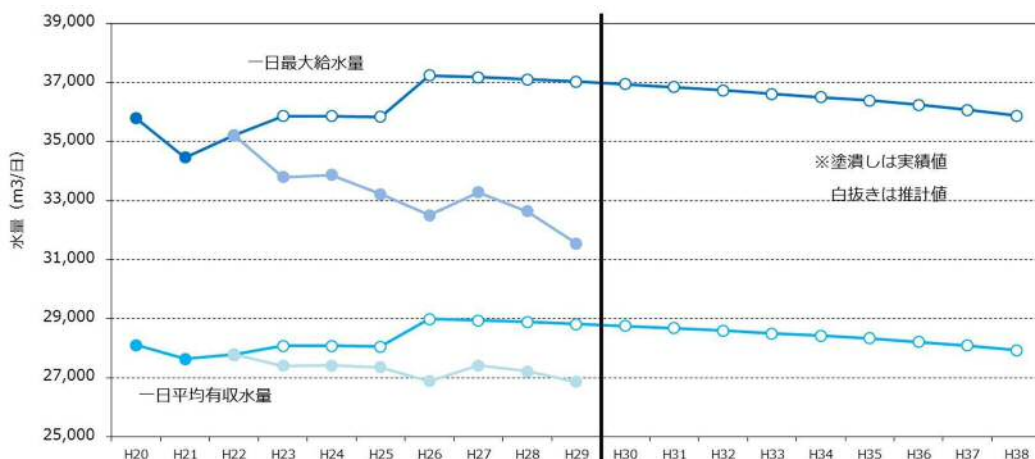
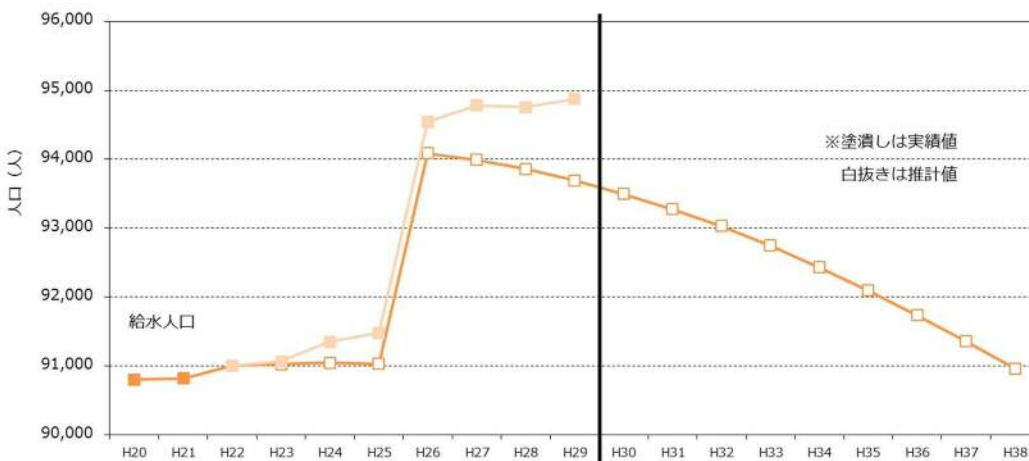


水需要などの動向



- ✓ 人口は予測値以上で推移
- ✓ 水量は予測値以下で推移（給水収益への影響）

17

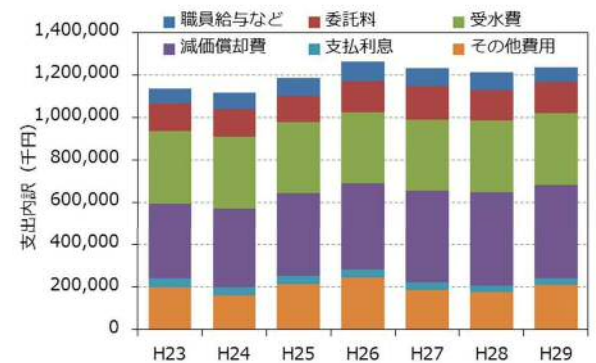
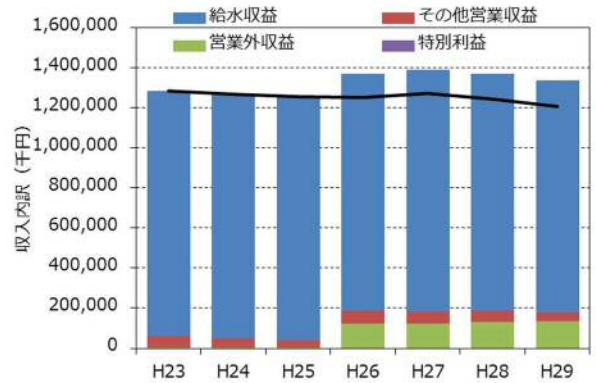
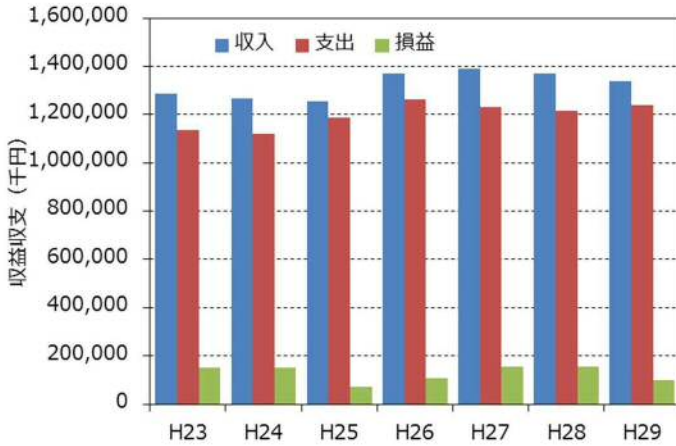


18

経営状況①

✓ 収益的収支の状況

近年は黒字経営が継続



※平成26年度から会計制度が改定

経営状況②

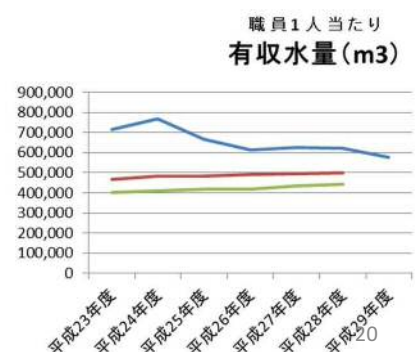
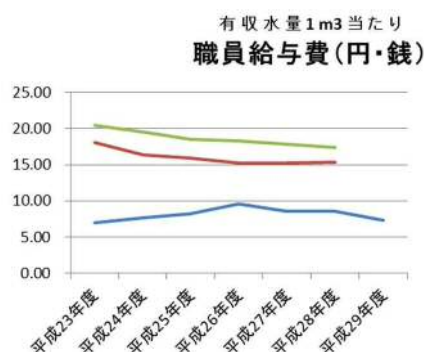
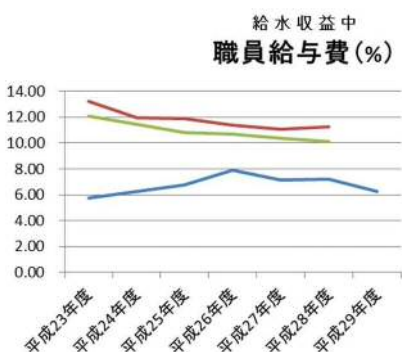
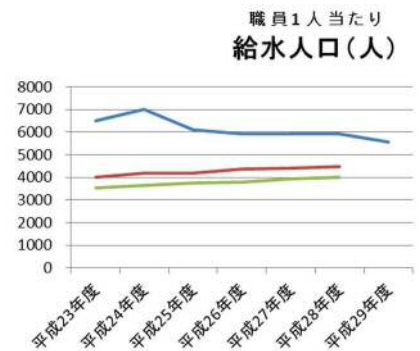
✓ 効率的な事業運営

職員一人当たりの業務量は平均

より高い

その他指標も効率的

であることを示す



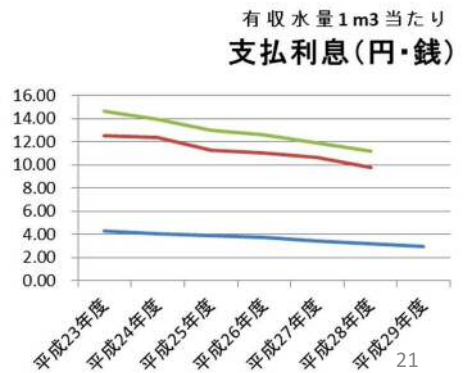
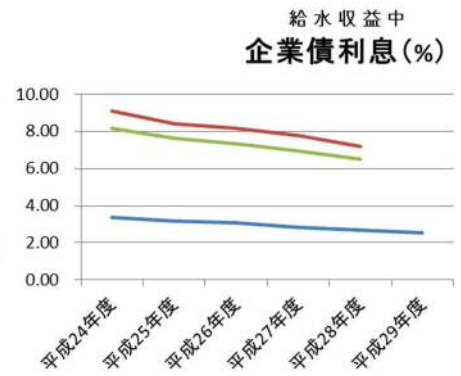
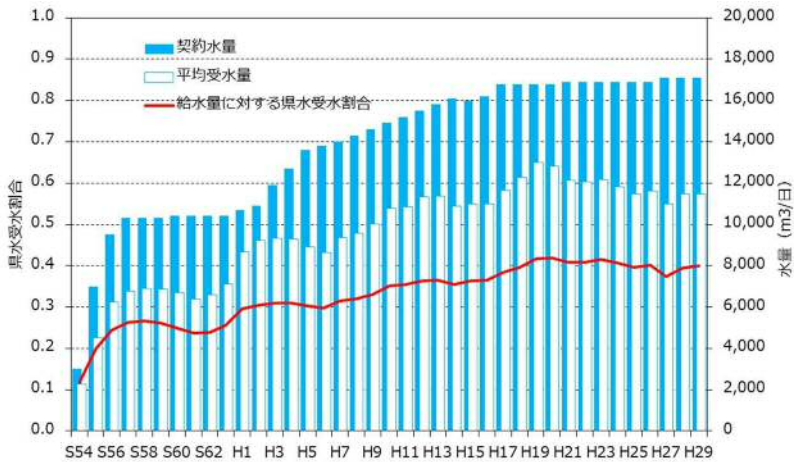
経営状況③

✓ 投資と財源

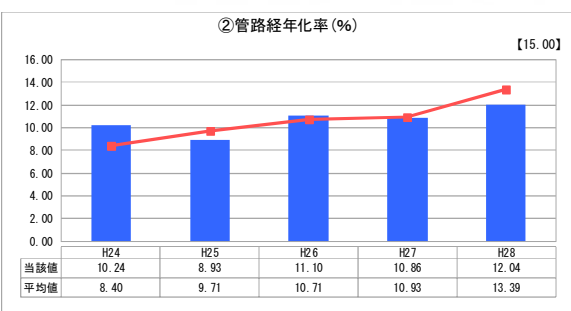
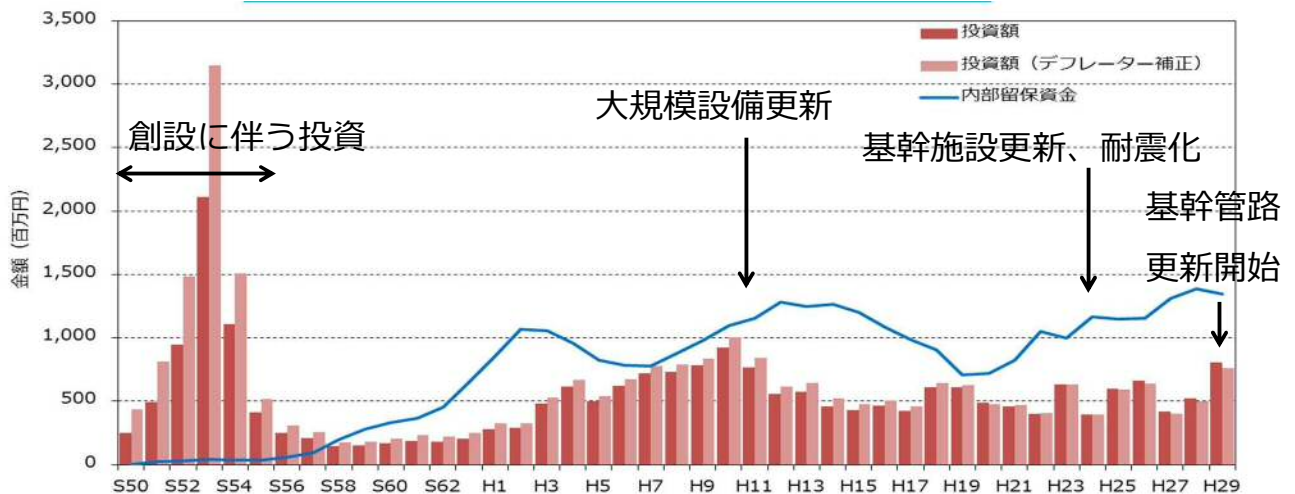
近年は自己財源での事業実施

✓ 経費縮減

受水量の低減化



これまでの投資状況



「管路の経年化の状況」

	施設耐震化率 (%)		管路耐震化率 (%)	
	浄水場	配水池	耐震適合率	耐震化率
名古屋市	84.4	80.4	76.7	33.2
尾張地区	47.5	77.4	48.6	30.5
西三河地区	39.6	78.1	49.8	27.5
東三河地区	69.2	98.1	32.9	27.6
愛知県(上水道事業)	73.2	98.1	52.1	30.1
江南市	20.7	100.0	1.4	1.4

※愛知県の水道(H28)より

水道料金について

23

現在の水道料金の体系

一般用・官公署用・営業用の基本料金（1使用月につき）

水量	料金
5m ³ 以下	450円

一般用・官公署用・営業用の超過水量の料金

超過水量	超過料金(1m ³ 当たり)
5m ³ 超～10m ³ 以下	90円
10m ³ 超～20m ³ 以下	105円
20m ³ 超～40m ³ 以下	130円
40m ³ 超～60m ³ 以下	155円
60m ³ 超～80m ³ 以下	185円
80m ³ 超	215円

湯屋用の基本料金（1使用月につき）

水量	料金
100m ³ 以下	9,000円

湯屋用の超過水量の料金

超過水量	超過料金(1m ³ 当たり)
100m ³ 超	105円

臨時用 1m³ につき・・・超過料金(1m³ 当たり) 230円

※上記料金表より算出した基本料金と超過料金のそれぞれに消費税相当額を加算したものの合計額が皆様への請求額となります。

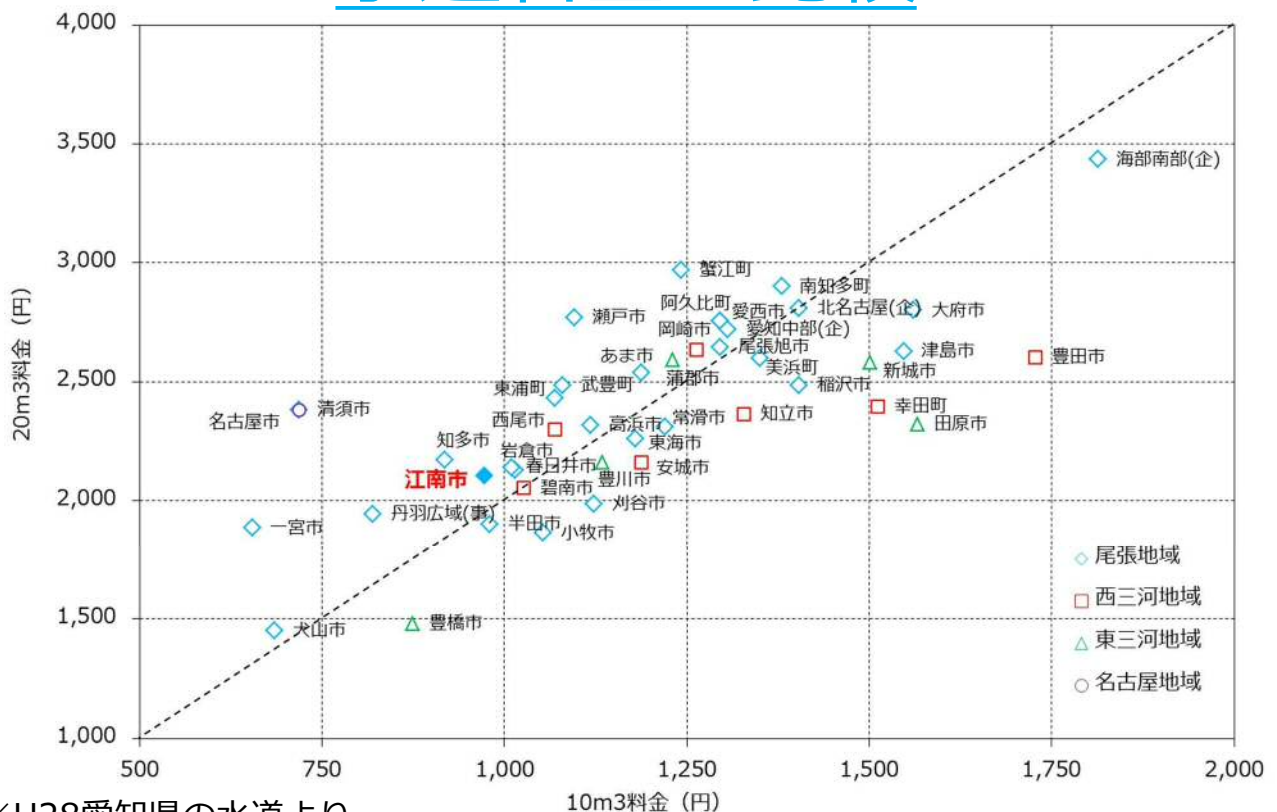
24



種別	定義	対象となる経費
基本料金	使用水量の有無に関わらず水道メーター口径や用途に応じて、水道使用者に負担してもらう料金	水道メーター設置費 検針徴収経費 等
従量料金	使用水量に応じて、水道使用者に負担してもらう料金	動力・薬品費 等

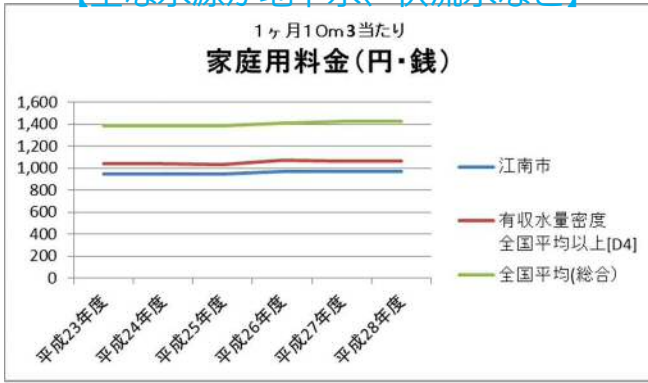
※水道料金改定業務の手引きより

水道料金の比較

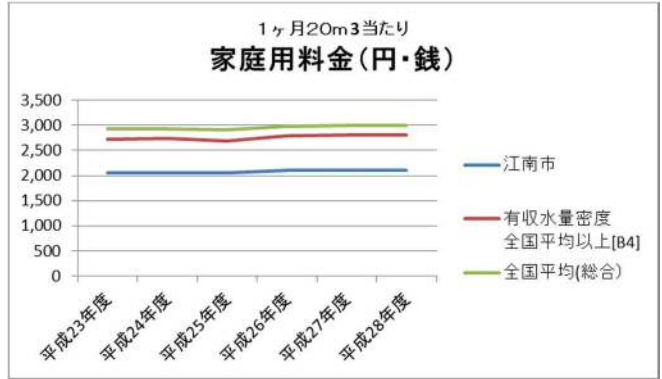
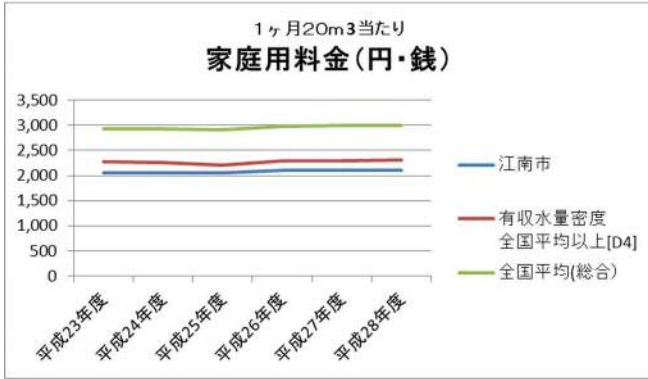
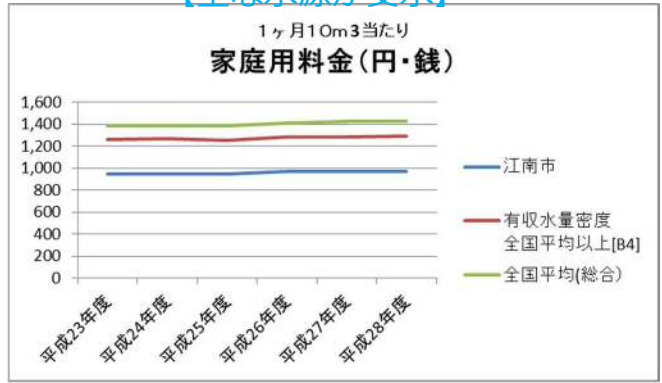


※H28愛知県の水道より

【主な水源が地下水、伏流水など】



【主な水源が受水】



なお、赤色は江南市と類似の事業体の平均値

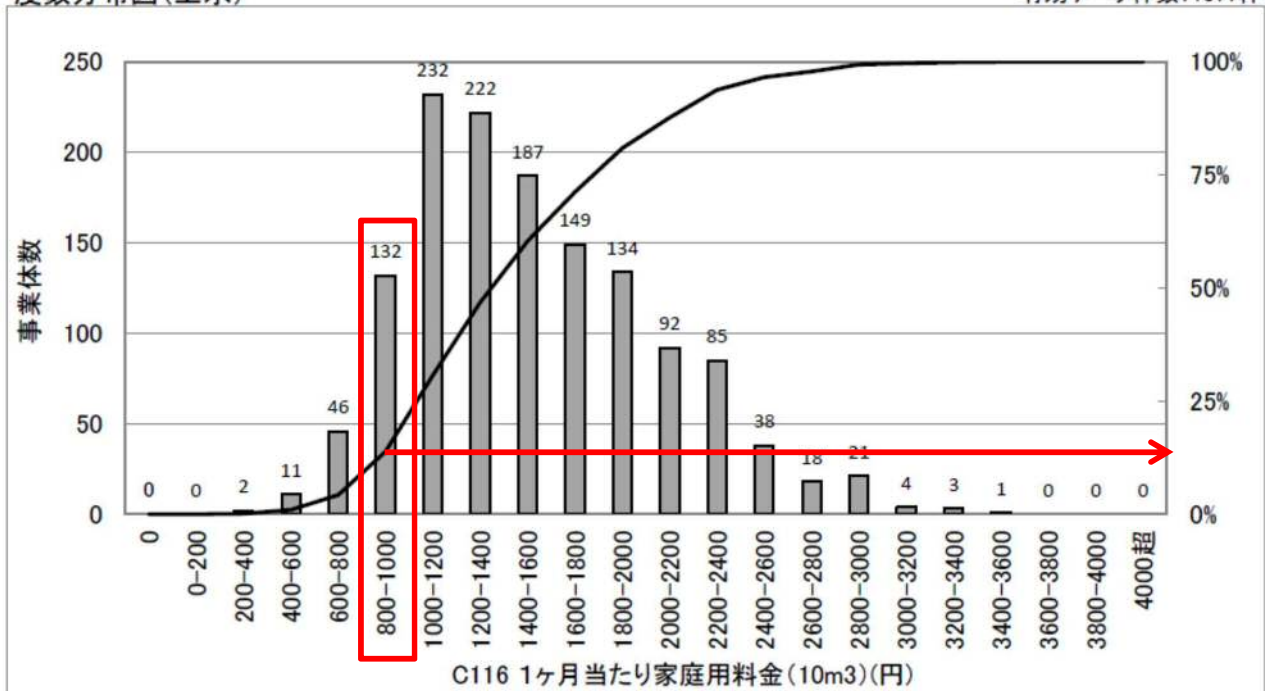
※水道統計、愛知県の水道より

給水人口規模：5～10万人、主な水源：受水（現状は地下水）、

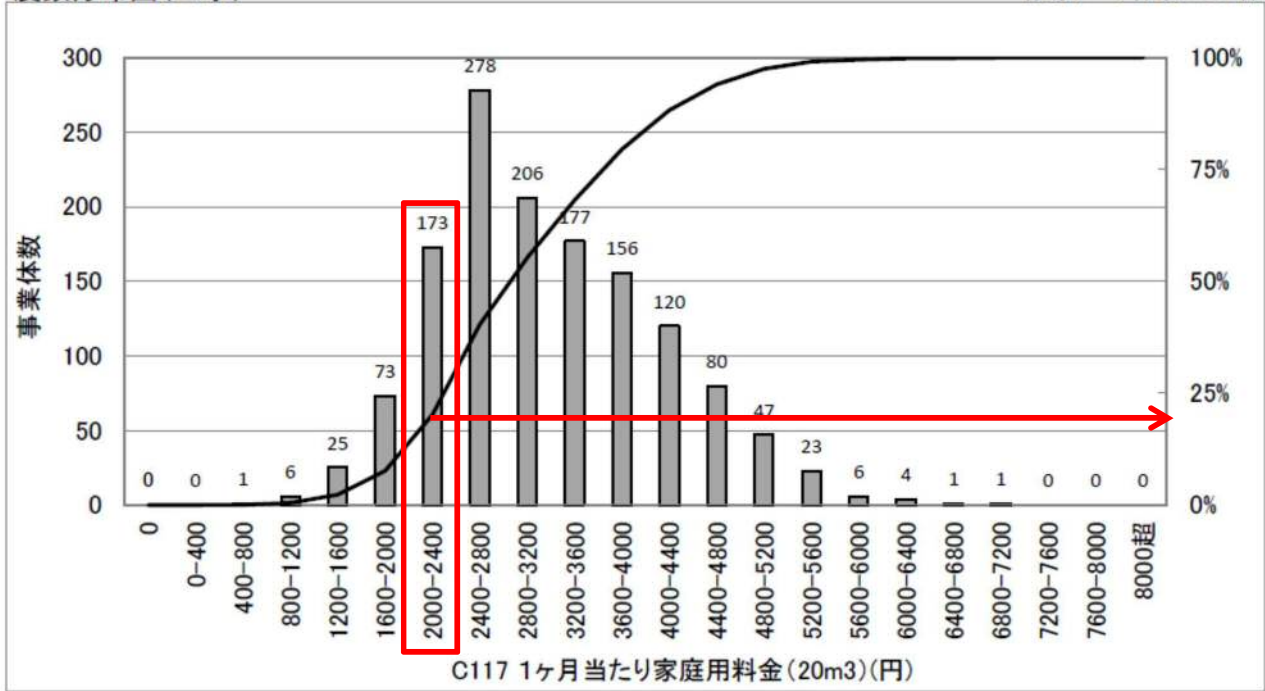
有収水量密度（給水区域面積1haあたりの年間有収水量）

度数分布図(上水)

有効データ件数: 1377件



※水道技術研究センターが平成27年度水道統計にもとづいて算出



水道料金の決め方

✓ 総括原価方式

水道サービスの提供に必要なとなる原価（営業費用等）にもとづいて水道料金を設定するという考え方

※営業費用：人件費、動力費、受水費、減価償却費
修繕費など

つまり、料金算定期間内において水道サービスを供給するために必要となる原価は、その期間の水道使用者が負担（水道料金として支払）する

總 括 原 価	事業維持所要額（資本費用）					
	総原価 （営業費用）	販売及び一般管理原価		期間原価		
		製造原価	製造間接費		間接材料費	製品原価
					間接労務費	
	間接経費					
	製造直接費	直接材料費				
		直接労務費				
直接経費						

